

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 3月 3日

多機能型事業所として

利用児童数

9

7

	チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	2		園の方針を汲み取っていただきながら、集団の中でも無理なく実践できる支援方法を一緒に考えて下さりました。また、困っている事にも具体的にアドバイスをしていただき、助かりました。その子の体にあった机や椅子についての的確なアドバイスがあり、取り入れることができた。助言や説明はわかりやすいのですが、準備する時間が取れないことが多くあり、小学校としては取り入れにくいことも多くありました。	引き続き、訪問先施設での困り感へ適切に対応できるよう努力してまいります。その中で、準備が難しいものがあれば、こちらで準備した物を使用していただくなどの対応をとり、集団生活の中でもご本人様が安心して生活を送れるような工夫や提案をしていきたいと思っております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	1		支援の方法や支援ツールの使い方を実際に見せてもらいながら助言していただいたことで、保育に取り入れやすく感じました。	今後も訪問先施設で活用できる支援ツールの提案や発達の特性に合わせた関り方などを発信して行きたいと思っております。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	1		訪問支援当日にフィードバックをしていただける事で、質問や悩みに丁寧に対応していただくことができました。質問には、十分に回答していただいています。ただ、時間がなかつたり、近くに児童がいる時間でも対応となり話しにくいこともありました。	可能な限り訪問先施設の時間に合わせられるように、情報共有をしております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	2		活動に合わせ、個別の対応や課題を取り入れて下さり、園児も無理なく過ごせる時間が増えたと感じました。個別と集団(クラス運営)での療育に悩む時がある。今年度、通常級に在籍しながらの個別対応ということで、なかなか人材が確保できない中で、協力して頂けて大変助かりました。支援していただいている時間は解消、軽減ができました。学校でも課題を用意しましたが、タイミングよく提示するのは難しかったです。ご褒美や別課題のことがほとんどで、準備には時間的、金銭的負担が多いと思われました。	該当児童様が置かれている状況を踏まえた上での集団生活を送る方法などを提案していければと思います。また、改めて該当する訪問先施設様には、該当児童様の発達の特性や段階の説明を行い、求めているものとの差があることについて、理解を深められるように対応させていただきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6	1		家族支援も含め、園からの要望に丁寧に対応していただき、とても満足しています。園外保育の時などに来ていただいて、保育士では目の行き届かないところをサポートしていただいている。学校の体制・方針に理解していただき、共通の認識のもと、保護者・児童に働きかけていただき、感謝しています。何を目標とするかを初めにもっと話し合える時間があると良いと思われました。	引き続き、訪問先施設様と協力体制のもと保護者様のサポートができればと思います。目標設定については、初回の訪問支援で必ず実施しているつもりでしたが、不足していたようですので、改めて初回利用児の目標設定を心がけて参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

来年度の利用も保護者様が希望しておりますので、引き続き協力体制を築けて行ければと思います。今年度とは、また違った形での支援方法となるかもしれませんが、体制がはつきりしたらご相談させて下さい。

訪問支援の目標をどこにするのか。保護者と学校の思いをどうバランスをとっていくのかは課題だと感じました。個人の技能面を高めていくのであれば今回の内容でも構いませんが、教科の内容とかけ離れていることが多く感じました。より個人の力をつけていくのであれば、月2回の支援の間に、学校が自立活動などで取り組んでいく内容のアドバイスをいただければと思った。訪問支援は交流学习の時間だったため、他児童との交流を目標とするなら、今回の支援内容では難しい。

その都度、情報共有をさせていただき、必要に応じて訪問支援に入れるよう体制を整えてまいります。

保護者様のニーズ、小学校の教育理念などを前提として目標設定していくことを心がけてまいります。一方で、こどもたちは一人ひとり成長の差があり、神経発達症のお子様はその子なりの学び方が重要となってくるため、みんなと一緒にという考えや学ばせ方が時に弊害となることがあります。そのため、現在提供している学習内容が本児にあっているのかどうか(例：足し算が難しい子に掛け算を教えてしまっている。見て理解する事が得意なのに、口頭指示ばかりに